

平成26年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 〈要旨〉

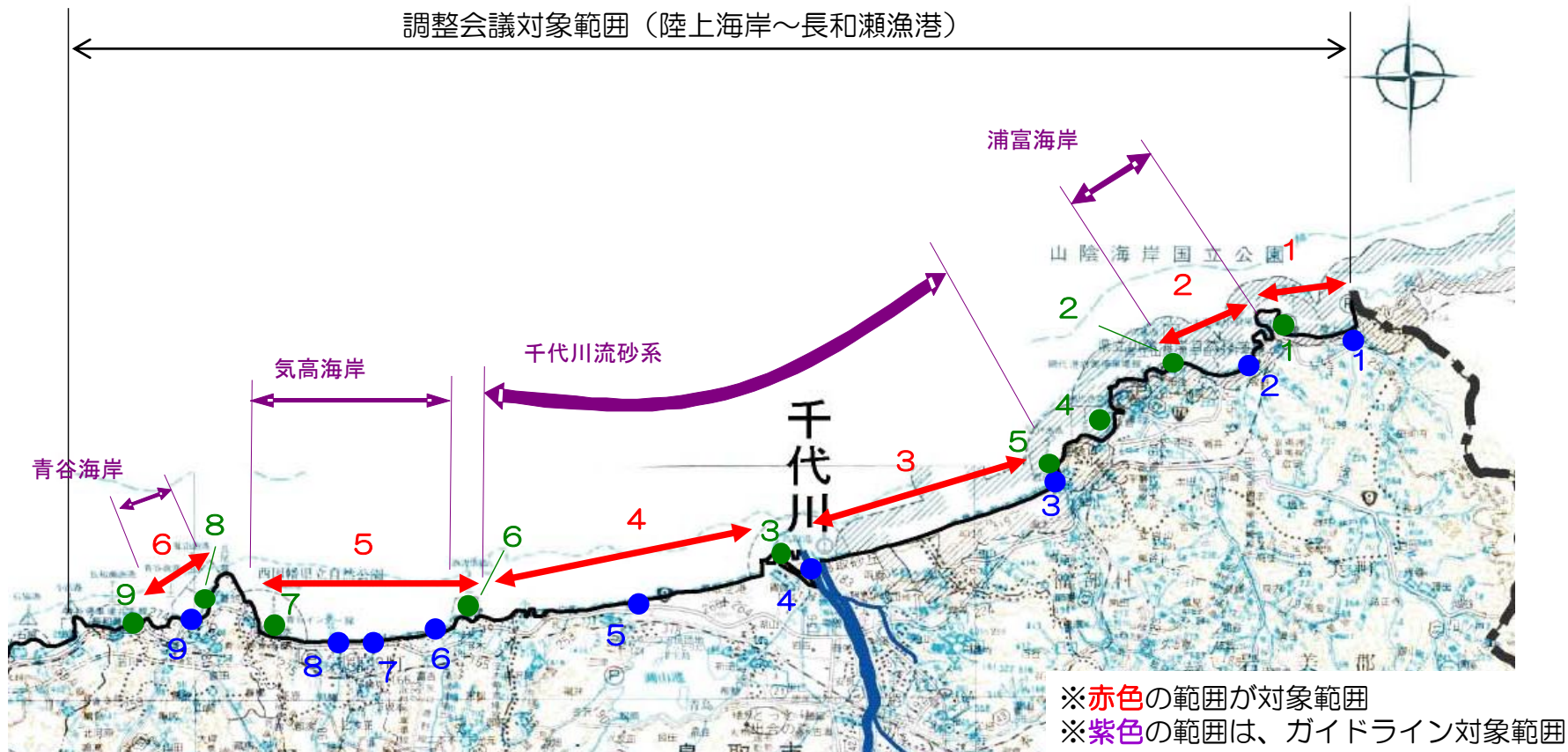


H26年7月撮影

平成26年10月30日(木)
鳥 取 県

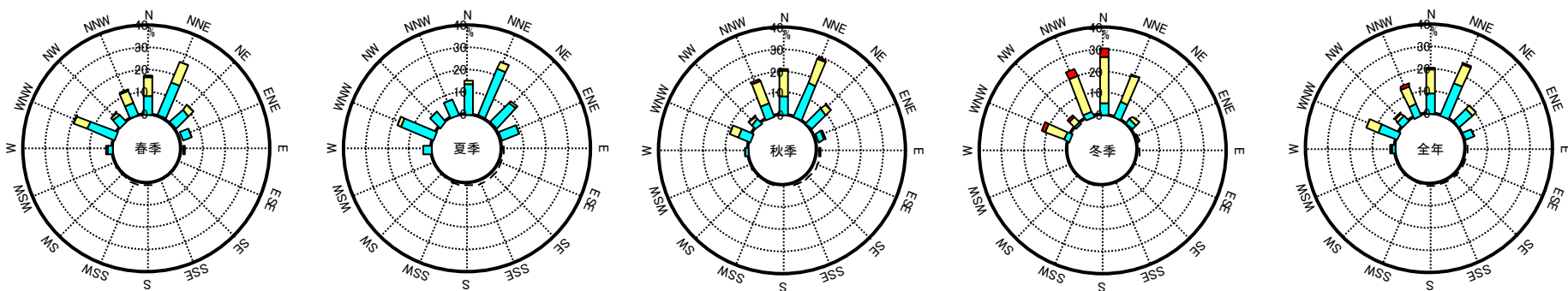
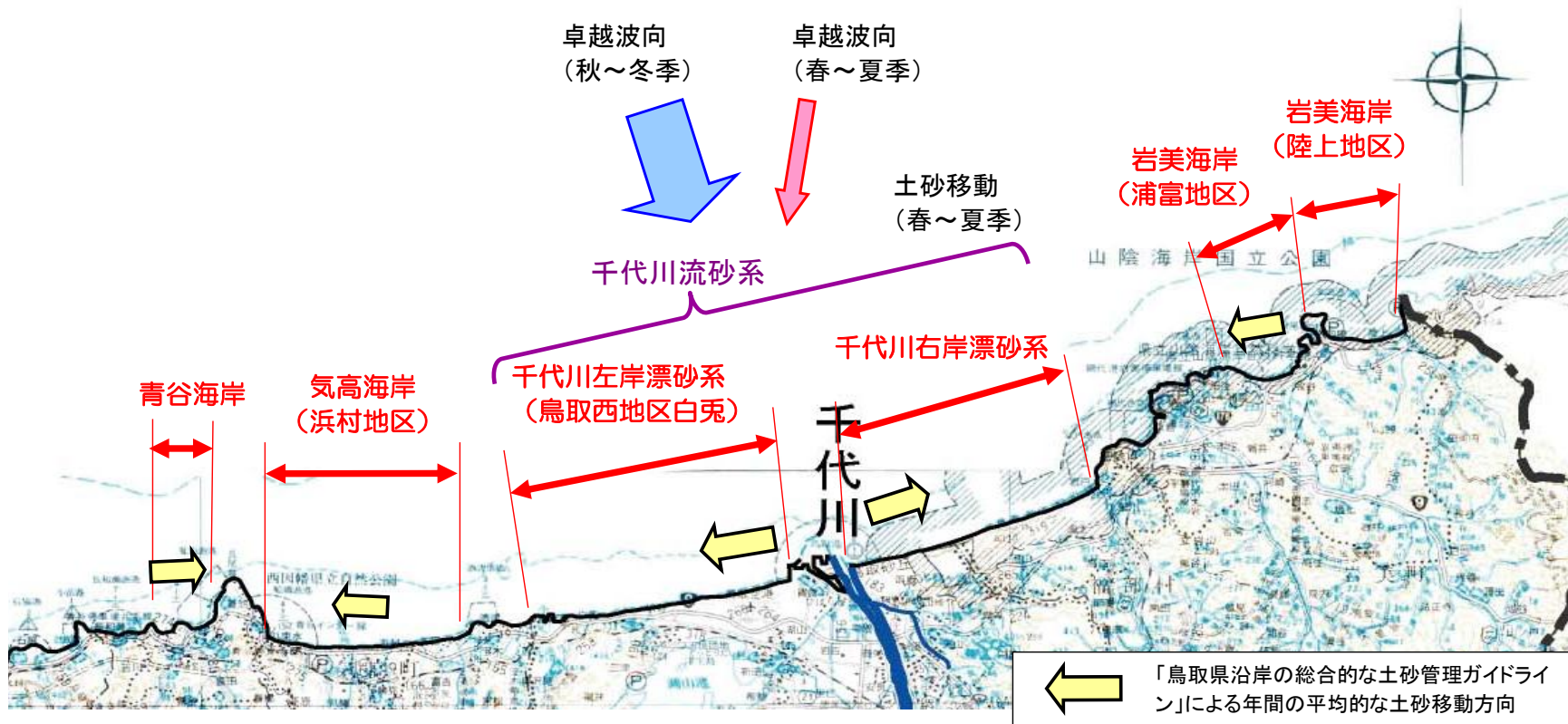
東部沿岸の対象範囲について

調整会議対象範囲（陸上海岸～長和瀬漁港）



区分	名称	管理者	種別	実施事業	区分	名称	管理者	種別	実施事業	区分	名称	管理者	種別	実施事業
海岸	1 岩美海岸 (陸上地区)	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量	河川	1 陸上川	鳥取県	二級河川	河口掘削	港湾・漁港	1 東漁港	岩美町	第1種漁港	航路・泊地浚渫
	2 岩美海岸 (浦富地区)	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量		2 吉田川	鳥取県	二級河川	河口掘削		2 田後港	鳥取県	地方港湾	航路・泊地浚渫
	3 福部海岸	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量		3 塩見川	鳥取県	二級河川	河口掘削		3 鳥取港	鳥取県	重要港湾	航路・泊地浚渫
	4 鳥取海岸 (鳥取西地区白兔)	鳥取県	建設保全海岸	汀線・(深浅測量)		4 千代川	国土交通省	一級河川			4 網代漁港	鳥取県	第3種漁港	航路・泊地浚渫
	5 気高海岸(浜村地区)	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量		5 溝川	鳥取県	二級河川	河口掘削		5 岩戸漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
5 気高海岸 (水尻地区)	鳥取県	一般公共海岸	汀線・深浅測量	6 河内川		鳥取県	二級河川	河口掘削	6 酒津漁港		鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫	
						7 浜村川	鳥取県	二級河川	河口掘削		7 船磯漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
						8 永江川	鳥取県	二級河川	河口掘削		8 夏泊漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
						9 勝部川	鳥取県	二級河川	河口掘削		9 長和瀬漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫

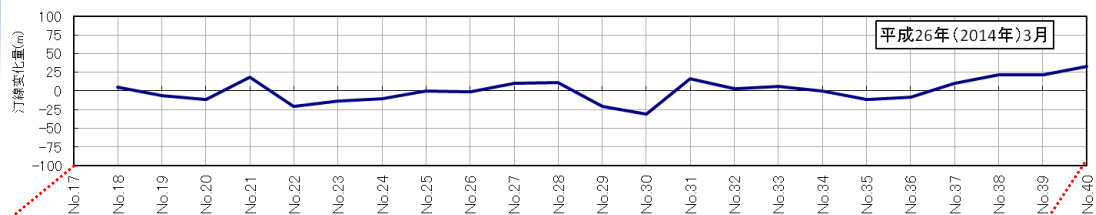
対象範囲の漂砂移動について



有義波高-波高頻度分布図：鳥取港波浪観測データ (2003～2014年)
 観測データ：ナウファス (国土交通省港湾局全国港湾海洋波浪情報網)
 ※2014年は、現在 (2014.10.1時点) で公表されている5月までのデータで整理

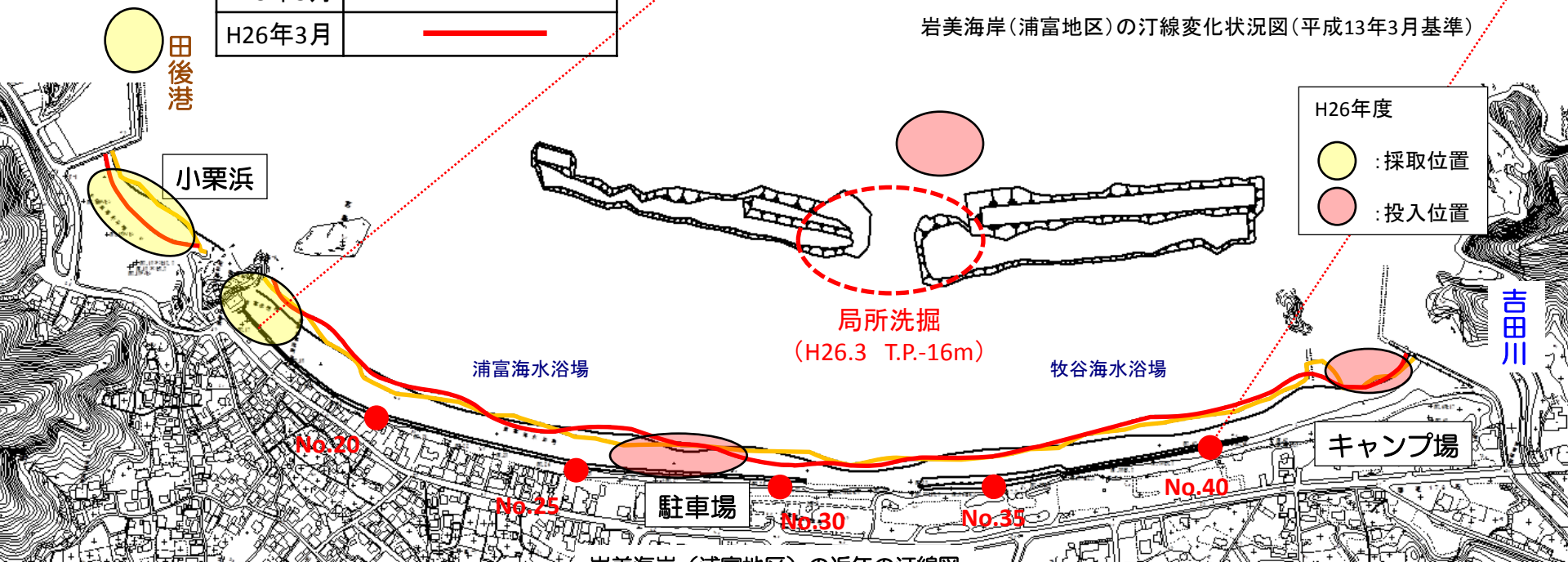
- $H_{1/3} > 3m$ 頻度割合 (%)
- $3m \geq H_{1/3} > 1m$ 頻度割合 (%)
- $1m \geq H_{1/3}$ 頻度割合 (%)

①岩美海岸(浦富地区)



岩美海岸(浦富地区)の汀線変化状況図(平成13年3月基準)

H13年3月	——
H25年3月	——
H26年3月	——



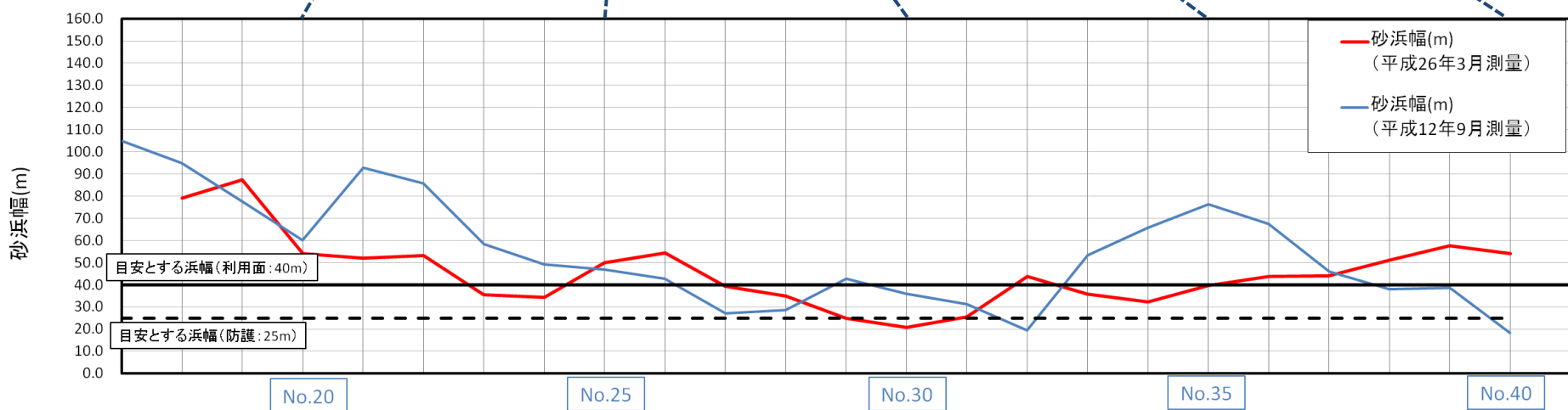
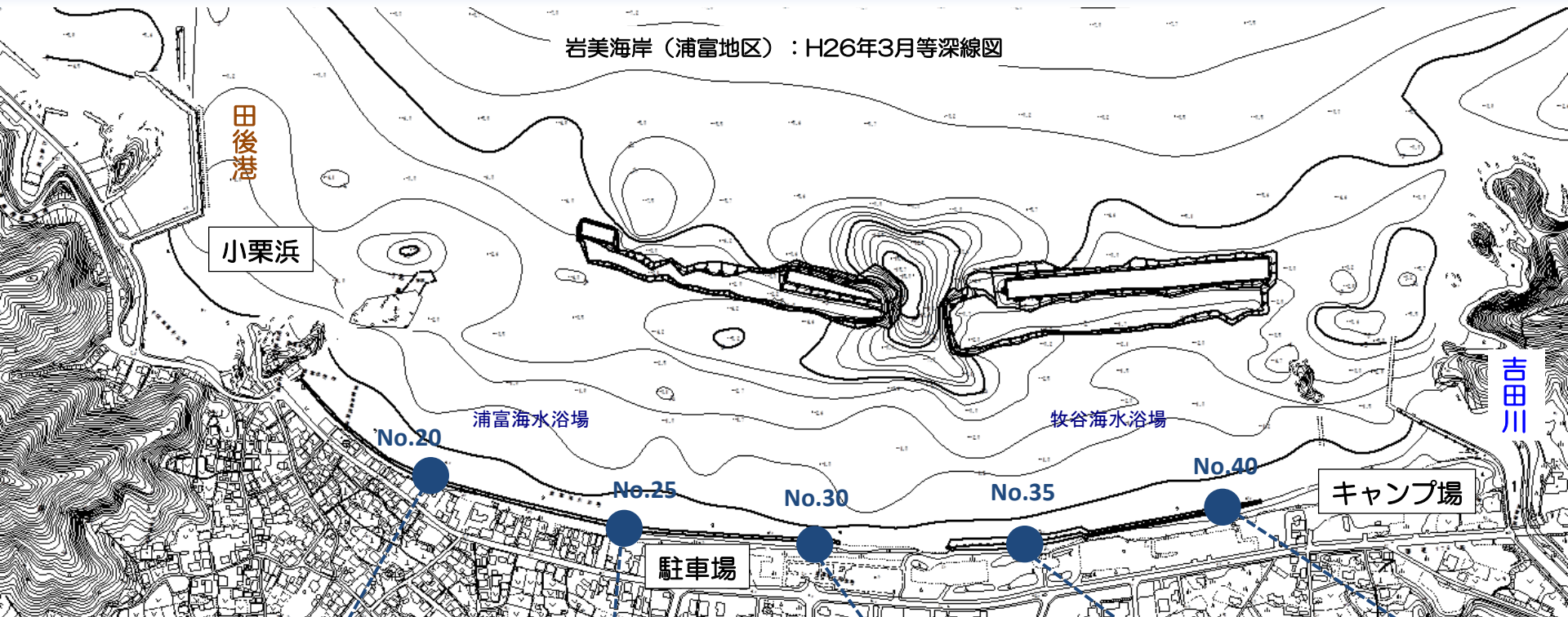
岩美海岸(浦富地区)の近年の汀線図

H13年からの傾向	サンドリサイクルの効果により汀線安定傾向。人工リーフ開口部に局所的な深掘れが発生。
H13年からの対策	サンドリサイクル、人工リーフ整備。
H26年対策	サンドリサイクル。人工リーフ開口部の局所洗掘対策を検討中。(シミュレーションによる検討)
H25～H26年の変化	人工リーフ開口部の海浜の局所侵食が発生。⇒サンドリサイクル開口部深掘れが進行しているが、H24年3月の深さと同程度。
H27年対策予定	サンドリサイクル、H26年度検討による人工リーフ対策。

H13～H25年度サンドリサイクル実績:495,346m³、年平均:38,104m³、H25年度:43,389m³
 ・波浪(台風、冬季風浪)により、局所的な侵食を受けているため、引き続き、浜崖の発生等を注視する必要がある。

①岩美海岸(浦富地区)

岩美海岸(浦富地区) : H26年3月等深線図



②千代川右岸

H26年3月等深線図

H26年度

- : 採取位置
- : 投入位置

人工リーフ

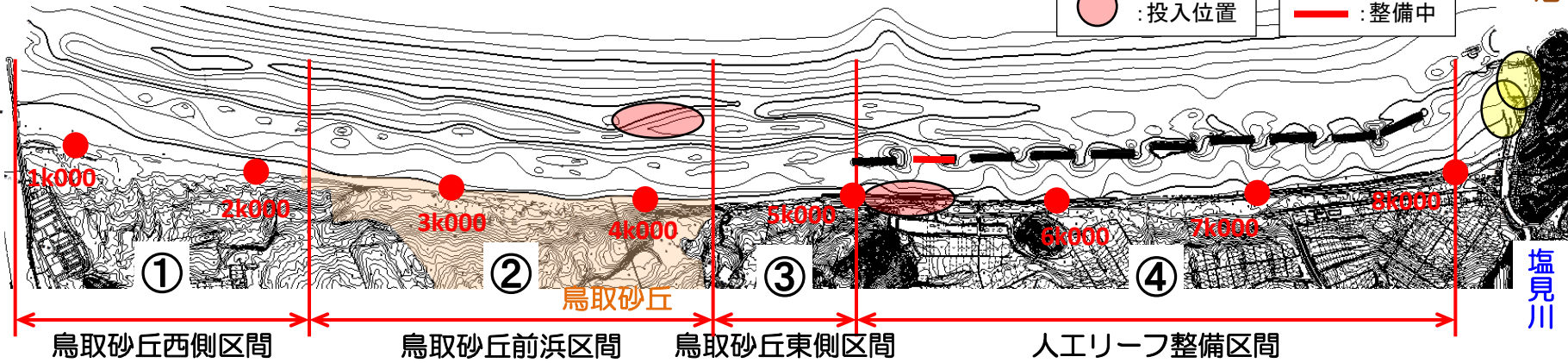
- : 整備済
- : 整備中

岩戸漁港

塩見川

鳥取港

千代川



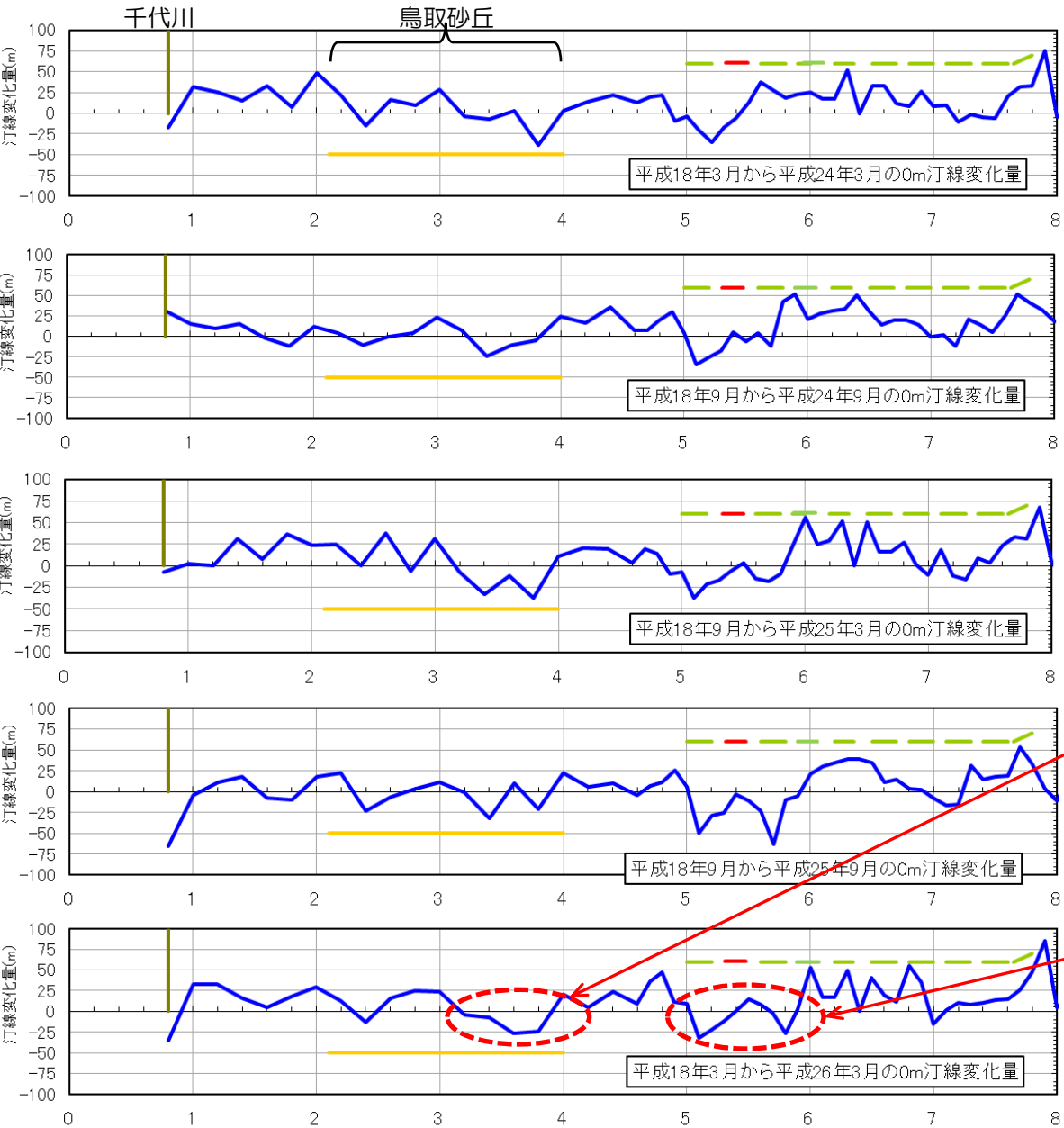
区 間	①	②	③	④
H18年からの傾向	安定傾向	西側はサンドリサイクルの効果により安定傾向。 東側は侵食傾向。	汀線前進傾向	安定傾向 人工リーフ未整備箇所は侵食傾向。
H18年からの対策	—	サンドリサイクル	サンドリサイクル (H22～H23年度駟馳山BP)	サンドリサイクル、人工リーフ整備。
H26年対策	—	サンドリサイクル	—	サンドリサイクル、人工リーフ整備。
H25～H26年の変化	安定傾向	西側は安定傾向。 東側は侵食傾向。	安定傾向	人工リーフ未整備箇所において、 局所的に侵食。
H27年対策予定	—	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル

H17～H25年度サンドリサイクル実績: 611,195m³、年平均67,910m³、H25年度: 35,762m³

- ・鳥取砂丘東側区間において、局所的な侵食があり、引き続き、サンドリサイクルによる対応が必要。
- ・人工リーフ未整備箇所において、局所的な侵食があり、引き続き、サンドリサイクル、人工リーフ整備による対応が必要。
- ・4k500地点は、漂砂方向の境界点、緩傾斜護岸であるため、注視しながら、サンドリサイクルを実施する必要がある。
- ・以前に駟馳山BP、塩見川河川改修工事の発生土砂を養浜して、海浜の安定を図っていた経緯があるため、今後も海浜状況を注視する必要がある。(陸上域で発生した土砂について、環境等海浜に適したものであれば、積極的にサンドリサイクルに利用することを検討。)

②千代川右岸

○サンドリサイクル開始以後の汀線経年変化

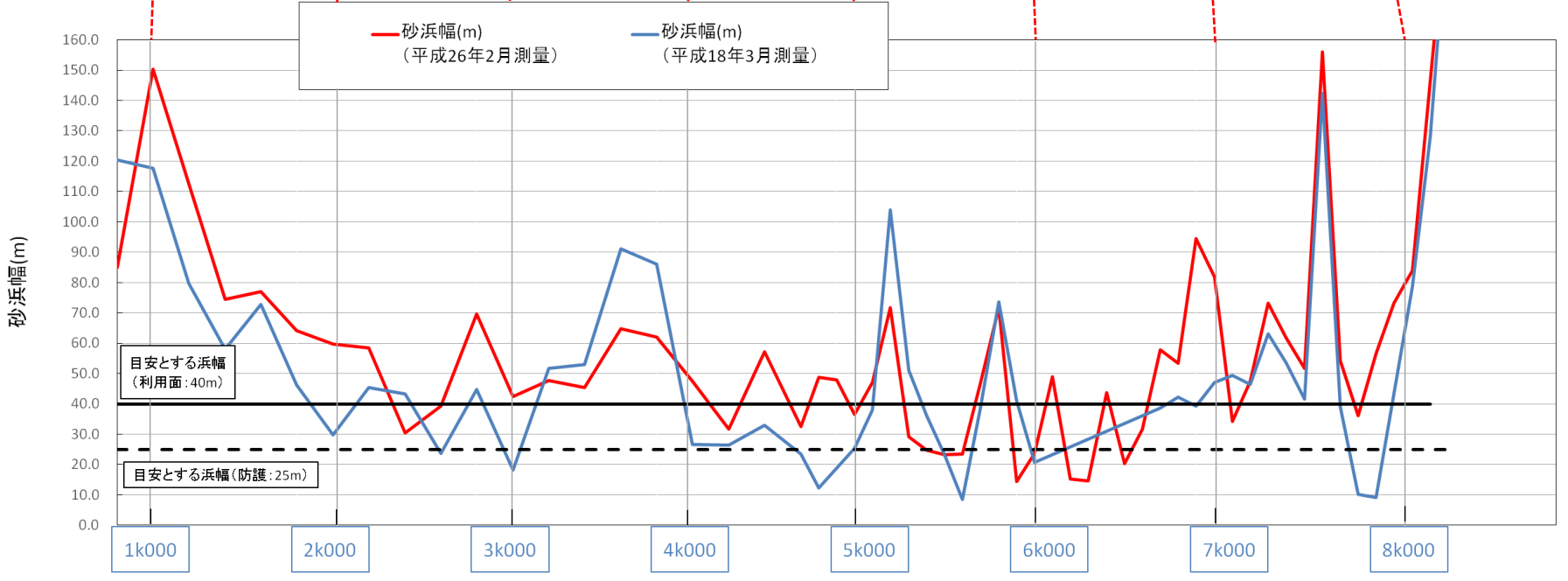


H18年を基準とすると、サンドリサイクルにより、汀線はおおむね同じ形状であり、汀線状況は、落ち着いている。

鳥取砂丘東側に局所的な侵食があり、引き続きサンドリサイクル対応が必要。
※現状汀線維持となっている。

人工リーフ未整備箇所において、局所的な侵食がある。
サンドリサイクル、人工リーフ整備による対応が必要。

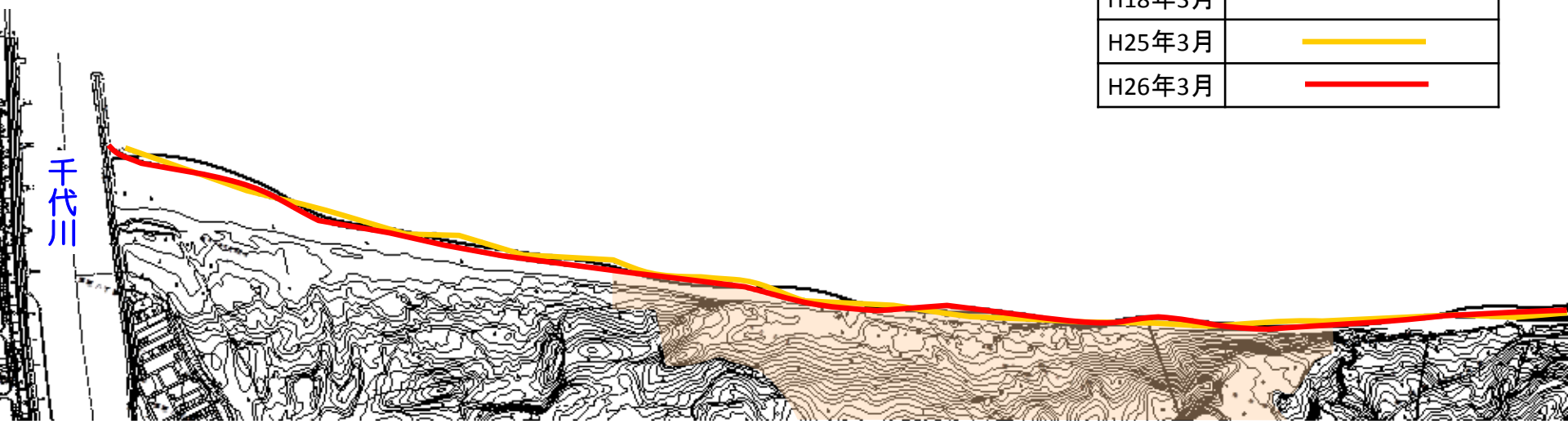
千代川右岸



②千代川右岸:参考

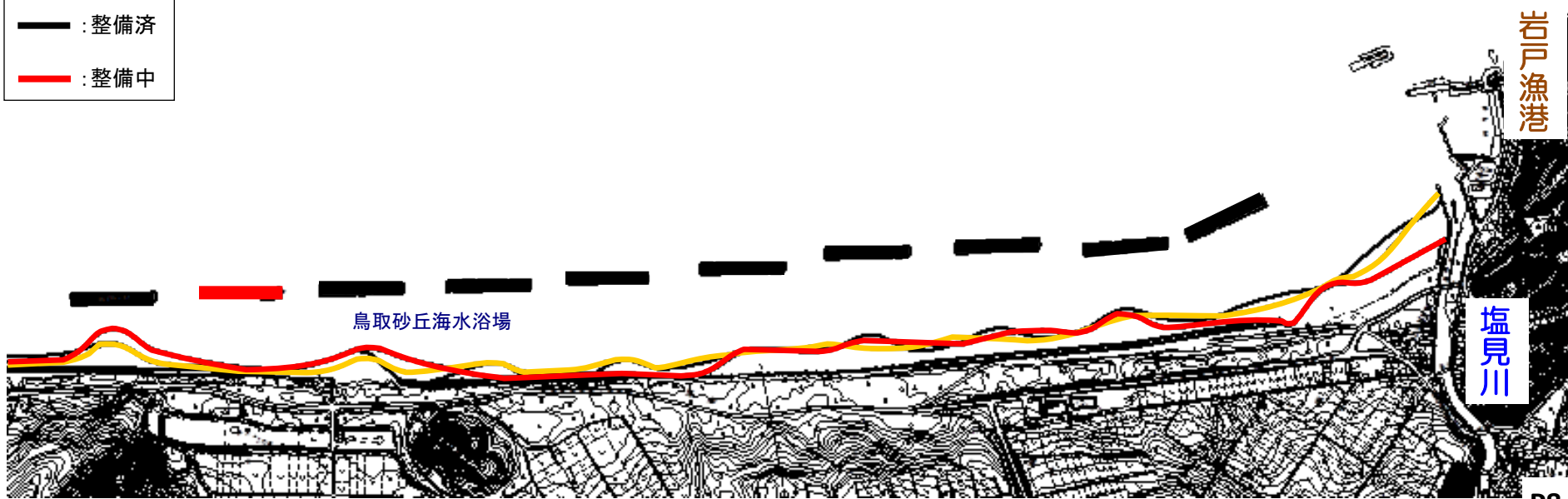
千代川右岸の近年の汀線図

H18年3月	— (黒)
H25年3月	— (黄)
H26年3月	— (赤)



鳥取砂丘

人工リーフ
— (黒) : 整備済
— (赤) : 整備中

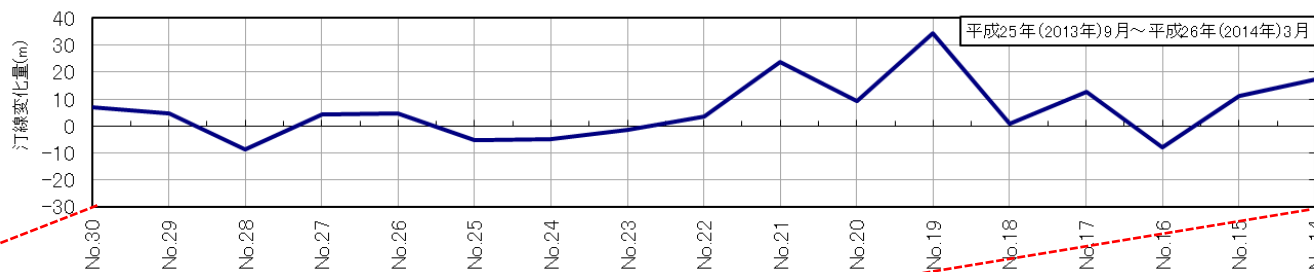


岩戸漁港

塩見川

鳥取砂丘海水浴場

③千代川左岸



区 間	①	②
H14年からの傾向	全体的には安定傾向。	安定傾向
H14年からの対策	(H25年度～深浅測量追加)	—
H26年対策	—	—
H25～H26年の変化	No.16付近(伏野海岸)で浜崖が発生。 NO.19～No.20辺り汀線前進が見受けられる。	安定傾向
H27年対策予定	引き続き、汀線・深浅測量を実施。	—

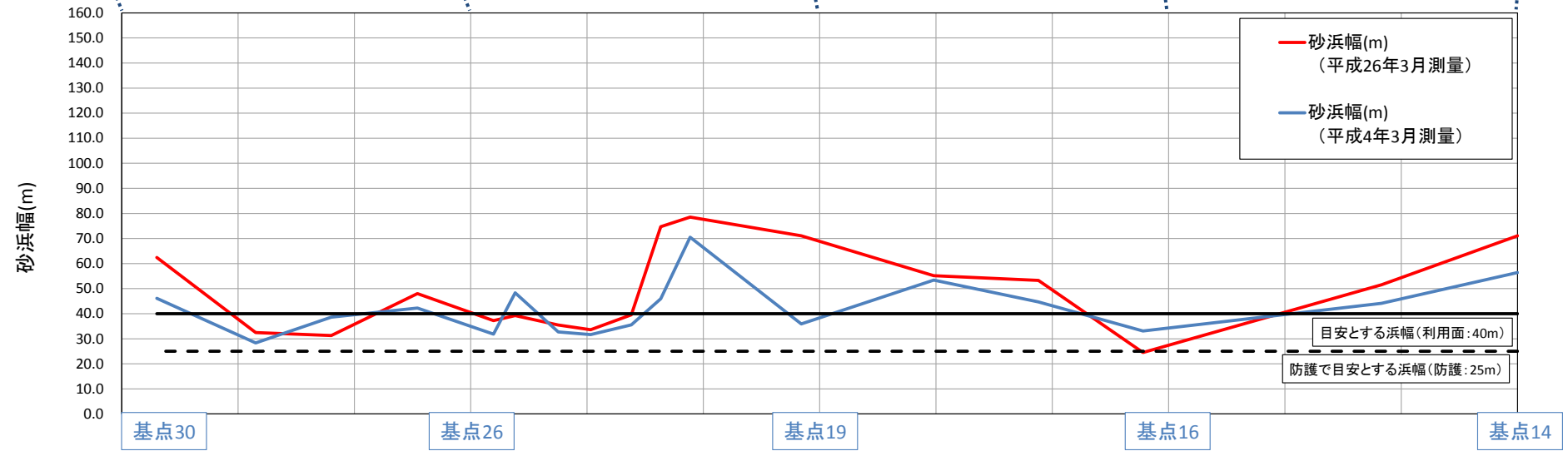
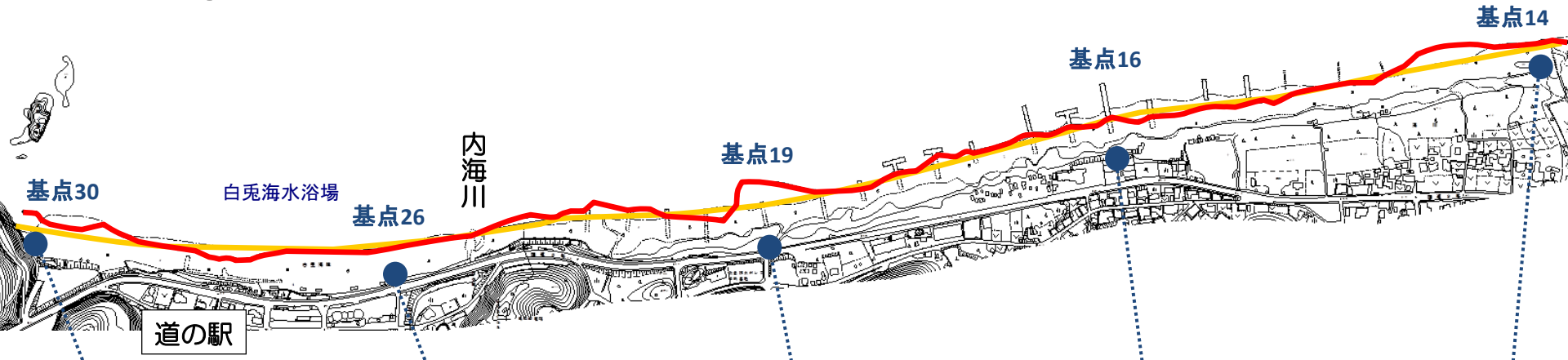
・海浜が安定的であるため、サンドリサイクル等の対策は実施されていないが、白兎海岸については、経年的に侵食・堆積の状況変化が見受けられるため、引き続き、モニタリングを実施する。

・H25年度、NO.16付近(伏野海岸)で浜崖が発生しているが、緊急対応として土のう設置済み。引き続き、海浜状況を注視する必要がある。(状況に応じて、サンドリサイクル等の対応を実施する必要がある。)

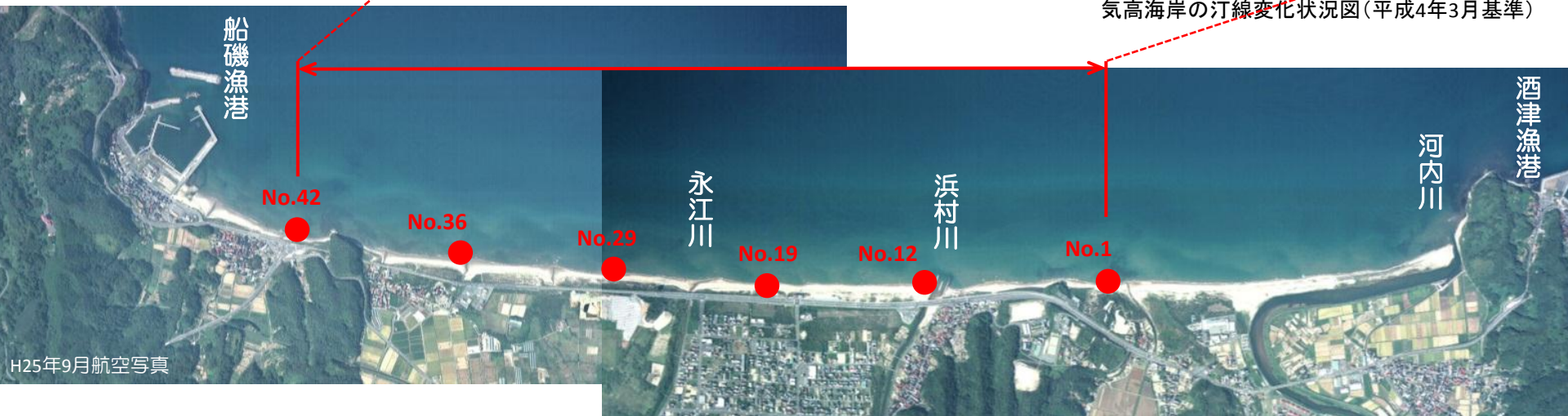
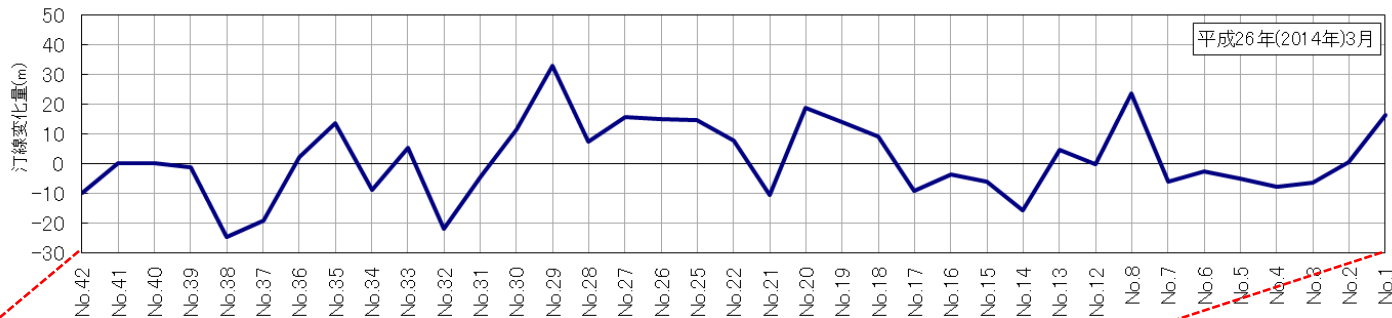
③千代川左岸

H14年3月	— · — · — ·
H25年3月	———
H26年3月	—————

千代川左岸①区間の近年の汀線図



④気高海岸



気高海岸の汀線変化状況図 (平成4年3月基準)

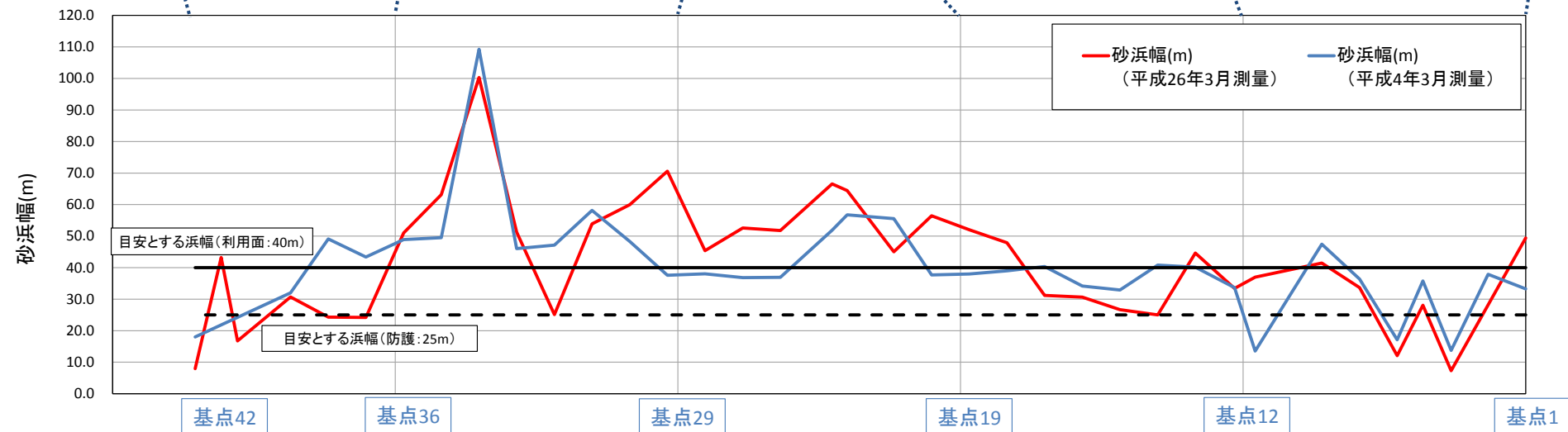
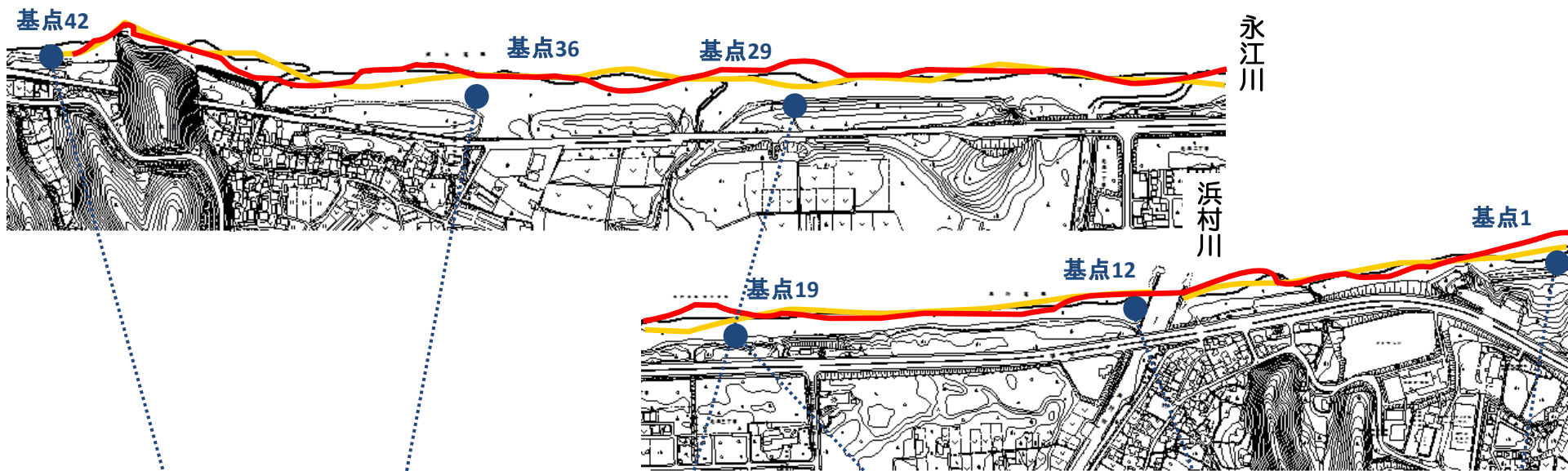
H14年からの傾向	汀線の変動幅は10m以内で安定傾向。
今までの対策	永江川、浜村川、河内川河口浚渫土、船磯漁港航路・泊地浚渫土によるサンドリサイクル。 (H25年度～深浅測量追加)
H26年対策	サンドリサイクル(永江川、浜村川、河内川、船磯漁港)
H25～H26年の変化	H25年度は、局所的に変動幅が10m以上前進、後退しているため、注視する必要がある。
H27年対策予定	引き続き、サンドリサイクル、汀線・深浅測量を実施。

- ・H25年度に浜村川右岸側において、浜崖が発生。⇒ 矢板設置(国道9号防護のため、仮設置。その後、汀線回復傾向。)
- ・長期的に安定傾向であるものの、局所的な侵食が発生しているため、引き続き、海浜状況を注視する必要がある。

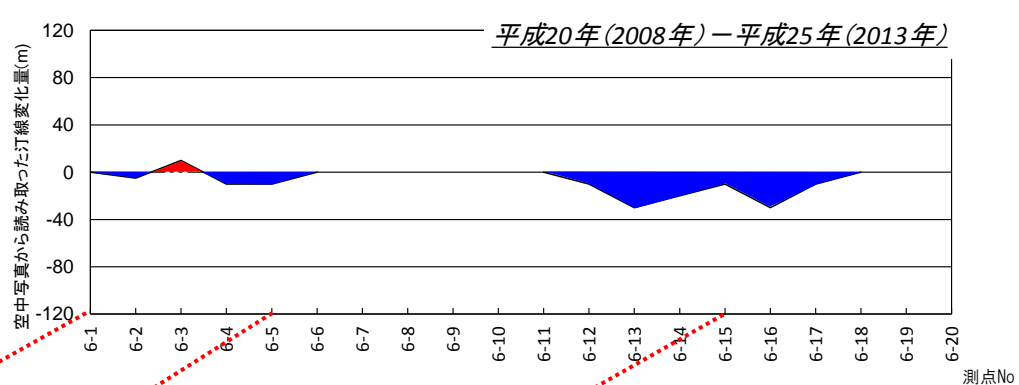
④気高海岸

気高海岸の近年の汀線図

H14年3月	
H25年3月	
H26年3月	



⑤青谷海岸



近年の傾向	過去からの汀線の前進後退の幅は概ね20m程度である。
近年の対策	勝部川河口浚渫土によるサンドリサイクル。
H26年対策	勝部川河口浚渫土によるサンドリサイクル。
H20⇒H25年の変化	航空写真比較すると、侵食傾向(30m程度)が見受けられる。
H27年対策予定	サンドリサイクル(勝部川河口浚渫土)

・青谷海岸は、最新の航空写真によると侵食傾向にあるため、状況に応じて、サンドリサイクルの実施を検討する必要がある。(鳴り砂)
 ・井手ヶ浜については、H25年度浜崖が発生しており、引き続き、海浜状況を注視する必要がある。(鳴り砂)